

syllabus

教科名 一般教養 I

	前期	後期	総時数
コマ数		1	38

開講学科 医療事務学科1年
(医療秘書・クラーク・薬局事務コース)

担当教員 堂下 智子 実務経験: 秘書・営業事務・証券外務員

目的	採用時の試験対策。 周囲とのコミュニケーションの中で会話にのぼる社会常識を身につけ円滑な会話が進められるよう知識を習得する。
----	---

実務経験の生かし方	人事の面接官経験を活かし、面接時での具体的な質問等、あらかじめそれぞれの学生が準備できるよう細かな指導を目指す。また身近な経済知識を所得税などからアプローチし、生活をとりまく税制などの理解を深められるよう証券外務員の経験を活かし、わかりやすい説明を心掛ける。
-----------	---

授業概要	前期	後期
	①	① 国語 難読漢字
②	② 四字熟語・ことわざ	
③	③ 日本・世界の文学作品	
④	④ 数学 数と式 方程式	
⑤	⑤ 図形の面積・体積	
⑥	⑥ 英語 和訳・英訳	
⑦	⑦ 英語のことわざ	
⑧	⑧ 掲示用語・数字の読み方	
⑨	⑨ 社会 各国の首都(地理)・通貨	
⑩	⑩	
⑪	⑪	
⑫	⑫	
⑬	⑬	
⑭	⑭	

評価方法	中間・期末試験による100点満点の平均点数。定期試験70%。出欠率10%。小テスト、提出物20%の総合評価。
------	--

教科書教材	教科書	教材	備考
	専門学校生のための一般常識トレーニング		

その他	必要に応じて、オリジナル資料を配布
-----	-------------------

syllabus

教科名 一般教養Ⅱ

	前期	後期
コマ数	1	

総時数	28
-----	----

開講学科 医療事務学科2年
(医療秘書・クラーク・薬局事務コース)

担当教員 堂下 智子 実務経験: 秘書・営業事務・証券外務員

目的	採用時の試験対策。 周囲とのコミュニケーションの中で会話にのぼる社会常識を身につけ円滑な会話が進められるよう知識を習得する。
----	---

実務経験の生かし方	人事の面接官経験を活かし、面接時での具体的な質問等、あらかじめそれぞれの学生が準備できるよう細かな指導を目指す。また身近な経済知識を所得税などからアプローチし、生活をとりまく税制などの理解を深められるよう証券外務員の経験を活かし、わかりやすい説明を心掛ける。
-----------	---

授業概要	前期	後期
	① 国語 難読漢字の読み書き ② 日本 <small>の</small> 文学 ③ 敬語 ④ 数学 数と式 ⑤ 適性試験問題 ⑥ 英語 和訳 ⑦ 掲示用語 ⑧ 動詞の活用 ⑨ 政経 経済用語の略語 ⑩ 民主政治の基本原理 ⑪ 日本 <small>の</small> 政治機構 ⑫ 経済の仕組み ⑬ 為替と税金 ⑭	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭

評価方法	中間・期末試験による100点満点の平均点数。定期試験70%。出欠率10%。小テスト、提出物20%の総合評価。
------	--

教科書教材	教科書	教材	備考
	専門学校生のための一般常識トレーニング		

その他	必要に応じて、オリジナル資料を配布
-----	-------------------

syllabus

教科名 硬筆書写

	前期	後期	総時数
コマ数	1	0.5	55

開講学科 医療事務学科1年
(医療秘書・クラーク・薬局事務コース)

担当教員 若狭 聖子 実務経験: 書写指導歴13年

目 的	手書き文字の大切さと必要性を理解し、読みやすく美しい文字や文章を書く技術を習得する。硬筆書写技能検定3級取得に向けて理解を深めながら技能の向上を目指す。
-----	--

実務経験の生かし方	教科書及び補足プリントを中心に、文字形成におけるメゾットをレクチャーし、能率的かつ効果的に演習を通して指導する。
-----------	--

授業概要	前期	後期
①	硬筆書写について 自分の名前を書こう ひらがな(字源をふまえて)	① 就職活動の応募書類(履歴書その1)
②	カタカナ(字源をふまえて)ひらがな、カタカナの文章など	② 就職活動の応募書類(履歴書その2)
③	漢字(基本点画)楷書	③ 長期研修、実習のお礼状など
④	漢字かな交じり文	④ 書写検定模擬テストその2
⑤	行書の基本とルール 行書の漢字	⑤ 書写検定模擬テストその3
⑥	楷書と行書の書き分け(熟語、文章)	⑥ 書写検定総復習(最終対策)
⑦	はがきの表書き(宛名、差出人をルールに基づいて)	⑦
⑧	掲示文(横書き)	⑧
⑨	書写技能検定3級の理論問題その1	⑨
⑩	書写技能検定3級の理論問題その2	⑩
⑪	速書きの演習など書写検定にむけて	⑪
⑫	書写検定模擬テストその1	⑫
⑬		⑬
⑭		⑭

評価方法	年2回の定期試験(中間・期末)70%、課題提出・受講態度・出席状況30%をもって総合的に評価する
------	--

教科書教材	教科書	教材	備考
	硬筆書写技能検定3級合格の必要に応じてプリントを配布	必要に応じてプリントを配布	

その他	1月 硬筆書写技能検定試験
-----	---------------

syllabus

教科名 臨床心理学

	前期	後期
コマ数		1

総時数	38
-----	----

開講学科 医療事務学科2年
(医療秘書・クラーク・薬局事務コース)

担当教員 熊谷 良介 実務経験: 一般教員

目的	人の悩みや葛藤などの問題にはどのようなものがあるのか、それを解決していくためにどのような方法があるのかの基礎的な部分を理解することを目的とする。
----	--

実務経験の生かし方	
-----------	--

	前期	後期
授業概要	① _____	① イントロダクション 臨床心理学とは
	② _____	② 臨床心理学の成り立ち
	③ _____	③ ライフサイクルと発達
	④ _____	④ 発達過程で生じる課題
	⑤ _____	⑤ アセスメント
	⑥ _____	⑥ アセスメントの技法
	⑦ _____	⑦ ストレスのメカニズム
	⑧ _____	⑧ メンタルヘルス対策
	⑨ _____	⑨ 精神的な病①: 症状の分類と診断
	⑩ _____	⑩ 精神的な病②: 不安障害、気分障害
	⑪ _____	⑪ 介入の理論
	⑫ _____	⑫ 介入の方法
	⑬ _____	⑬ まとめ
	⑭ _____	⑭ _____

評価方法	リアクションペーパー(感想・質問)20%、定期試験70%、出欠席10%の合計100%で評価 リアクションペーパーは、毎回講義終了時に提出
------	---

	教科書	教材	備考
教科書 教材	『面白いほどよくわかる！臨床心理学』		

その他	
-----	--

syllabus

教科名 秘書概論

	前期	後期	総時数
コマ数	1	1	74

開講学科 医療事務学科1年
(医療秘書・クラーク・薬局事務コース)

担当教員 堂下 智子 実務経験: 秘書・営業事務・証券外務員

目的	秘書検定受験を意識しながら、社会人として仕事をする上での基本を学ぶ。正しい敬語をつかって会話ができるようになること、電話対応の基本や文書を作成するときのマナーなど実践につなげられるよう学んでいく。
----	--

実務経験の生かし方	秘書経験を活かし、様々な状況に応じ冷静な対応ができるように実例を含めて説明する。知識を吸収するだけでなく、実践できるようになることが大切であることを各自が意識できるよう指導する。
-----------	---

授業概要	前期	後期
	① 検定に向けての勉強方法・礼の必要性	① 経済用語・政治用語・略語
	② 初歩的な仕事について処理する力を身につける	② ファイリング・資料整理・名刺整理
	③ 社会人としての身だしなみ・心がけを理解する	③ 環境整備・什器
	④ 一般知識(社会常識・経営学・一般会計・財務)	④ 各種グラフの書き方
	⑤ 接遇	⑤ パーティーマナー・ドレスコード
	⑥ 敬語の適切な使い方	⑥ 郵便・宅配での発送方法
	⑦ 慶弔時のマナー	⑦ 機密文書の取り扱い・郵送方法
	⑧ 贈答・交際のマナー	⑧ 会議の準備・進行
	⑨ 会議に関する知識	⑨ アポイントなしの来客対応
	⑩ 社外・社内文書の作成	⑩ 上司への進言、後輩指導、説明方法
	⑪ 事務機器の名称・使用方法	⑪ 苦情、断り方の実践
	⑫ 電話対応	⑫
	⑬	⑬
⑭	⑭	

評価方法	中間・期末試験による100点満点の平均点数。定期試験70%。出欠率10%。小テスト、提出物20%の総合評価。
------	--

教科書 教科書 教材	教科書	教材	備考
	秘書検定2級集中講義 秘書検定3級実問題集 秘書検定2級実問題集		

その他	秘書検定3級・2級 必要に応じて、オリジナル資料を配布
-----	--------------------------------

syllabus

教科名 ビジネスマナー

	前期	後期	総時数
コマ数	1	1	66

開講学科 医療事務学科2年
 (医療秘書・クラーク・薬局事務コース)

担当教員 堂下 智子 実務経験:秘書・営業事務・証券外務員

目 的	ビジネス実務上必要になるマナーの習得を目指す。基本的なビジネス文書の書き方、来客対応などロールプレイングも行き、即戦力になれるようスキルを身につけることを目標とする。また、固定電話の使用が少ない世代であることを認識し、電話の受発信は重点的に演習を繰り返し、どのような対応もできるよう訓練する。
-----	--

実務経験の生かし方	お客様に失礼のないように対応できるように、実際の様々な具体例を説明する。どのような場面でもそこから学ぶ点があること、相手に寄り添うことによって自分の仕事に広がりを感じられることを伝えられるよう努力する。
-----------	---

授業概要	前期 ビジネス文書の必要性 ① ビジネス文書のルール ② 社外文書の書き方 ③ 社内文書の書き方 ④ 手紙文における慣用句 ⑤ 用紙の選び方 ⑥ 帳票作成 ⑦ 電話対応① 受信・発信・伝言を受ける ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭	後期 ビジネスマナーの必要性 ① 電話対応② 受信・発信 ② 来客対応 ③ 訪問時のアポイントの取り方 ④ 訪問時のマナー ⑤ 慶弔マナー ⑥ スタッフとのコミュニケーション ⑦ 医療機関での接遇 ⑧ 金銭授受に関する注意委 ⑨ 患者様への対応 ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭
------	--	--

評価方法	中間・期末試験による100点満点の平均点数。定期試験70%。出欠率10%。小テスト、提出物20%の総合評価。
------	--

教科書 教材	教科書	教材	備考
	ビジネスマナー実問題集		

その他	必要に応じて、オリジナル資料を配布
-----	-------------------

syllabus

教科名 検査と薬品

	前期	後期
コマ数	1	1

総時数
66

開講学科 医療事務学科2年
(医療秘書・クラーク・薬局事務コース)

担当教員 合田 由美子 実務経験: 薬剤師

目的	薬剤師として病院、調剤薬局での実務経験のある講師が、検査と薬品について、病院など医療機関で仕事をする上で必要となる基礎知識、常識を習得させる。
----	---

実務経験の生かし方	検査と薬品について、実際に医療機関で使われている用語や薬品名などについて実務経験をもとに各区分ごとに詳しく解説したい。
-----------	---

授業概要	前期 検査の基礎知識	後期 薬理学総論①
	①	①
	② 一般検査	② 薬理学総論②
	③ 血液検査	③ 末梢神経系作用薬
	④ 生化学的検査①	④ 中枢神経系作用薬
	⑤ 生化学的検査②	⑤ 消化器系疾患に用いる薬物
	⑥ 免疫学的検査	⑥ 循環器系疾患に用いる薬物
	⑦ 輸血検査・微生物検査	⑦ 代謝系疾患に用いる薬物
	⑧ 病理組織学的検査・染色体検査	⑧ 呼吸器系疾患に用いる薬物
	⑨ 生理機能検査・前期のまとめ	アレルギー性疾患治療薬
	⑩	⑨ 抗炎症薬
	⑪	ホルモン・ビタミン製剤
	⑫	⑩ 貧血および血液系疾患治療薬
	⑬	感染症治療薬
⑭	⑪ 輸液製剤	
	後期まとめ	

評価方法	毎回ノート提出により30%、筆記による定期試験により70%計100%での評価
------	--

教科書 教材	教科書	教材	備考
	新医療秘書医学シリーズ⑤ 検査・薬理学	講師作成プリント	

その他	
-----	--

教科名 医療保障

	前期	後期
コマ数	1	1

総時数	74
-----	----

開講学科 医療事務学科1年
(医療秘書・クラーク・薬局事務コース)

担当教員 柴田 達也 実務経験: 医療事務・診療情報管理

目的	健康保険法、国民健康保険法など各法別に学習し、医療保障制度と国民・社会との関わりについて学習する。実務における事例を参考に、医療事務員として基礎的な知識の構築を目指す。
----	--

実務経験の生かし方	実務における業務ポイントの解説 (窓口業務、請求業務、届出業務について)
-----------	---

	前期	後期
授業概要	① 1部 医療機関の概要 医療保険のしくみ(フロー)	① 4章 医科・歯科医療事務の仕事 I 日常業務(受付業務)
	② 1章 医療機関と薬局 I 医療機関①(医療法より)	② I 日常業務(料金計算・会計業務) II 請求事務
	③ I 医療機関② (開設者により)	③ 2部 その他の関連制度 1章 I 公費負担医療制度の概要
	④ II 薬局 III 医療機関と薬局の関係	④ II 主な公費負担医療制度① (生活保護法:12)
	⑤ 2章 医療保障制度 I 医療保障制度の体系	⑤ II 主な公費負担医療制度② (難病法など:54、51、52)
	⑥ II 医療保険制度	⑥ II 主な公費負担医療制度③ (感染症法:29、28、10、11)
	⑦ III 医療保険の種類① (社保)	⑦ II 主な公費負担医療制度④ (精神保健福祉法:20)
	⑧ III 医療保険の種類② (国保)	⑧ III その他助成制度 IV レセプトの記載
	⑨ III 医療保険の種類③(後 高)	⑨ 2章 その他の医療関係制度 I 労災保険・自賠責保険
	⑩ IV 被保険者証	⑩ II 介護保険
	⑪ 3章 保険給付 I 保険給付の範囲と種類	⑪ 3章 算定・請求の電子化 4章 医療事務スタッフの心構え
	⑫ II 給付割合と患者負担	
	⑬ III 高額療養費	
	⑭ IV 長期高額療養費 V 保険外併用療養費	

評価方法	中間試験・期末試験による100点満点の平均点数評価
------	---------------------------

	教科書	教材	備考
教科書 教材	医療事務講座)テキスト1 医療関連法規 知っておきたい公費	資料および問題を作成	

その他	
-----	--

syllabus

教科名 医学用語

	前期	後期	総時数
コマ数	1	1	74

開講学科 医療事務学科1年
(医療秘書・クラーク・薬局事務コース)

担当教員 伊東 登 実務経験: 医学論文執筆・翻訳

目 的	医療現場や医学書で使われている医学用語や医学英語を、分かりやすく説明していく。診療情報管理士や医療情報技師などの検定試験にも対応する。
-----	---

実務経験の生かし方	医学用語の種類は膨大で、学生は学習するのに戸惑うことが多いので、基本的な使用頻度の多い用語から丁寧に説明していく。
-----------	---

授業概要	前期	後期
	① 概論	① 皮膚・感染・寄生虫用語
	② 循環器用語	② 精神医学用語
	③ 呼吸器用語	③ 乳腺用語
	④ 消化器用語1	④ 妊娠・分娩・周産期用語
	⑤ 消化器用語2	⑤ 演習
	⑥ 泌尿器用語	⑥ 略語1
	⑦ 演習	⑦ 略語2
	⑧ 代謝内分泌用語	⑧ 造語の基本
	⑨ 神経用語	⑨ 接頭語1
	⑩ 感覚器用語	⑩ 接頭語2
	⑪ 骨格用語1	⑪ 接尾語1
	⑫ 骨格用語2	⑫ 接尾語2
	⑬ まとめ	⑬ まとめ
⑭ 演習	⑭ 演習	

評価方法	課題提出50%、定期試験50%、計100%で評価
------	--------------------------

教科書 教材	教科書	教材	備考
	診療情報管理II	プリント、ビデオ	

その他	
-----	--

syllabus

教科名 **人体構造・機能論 I**

	前期	後期
コマ数	1	

総時数	36
-----	----

開講学科 医療事務学科1年
(医療秘書・クラーク・薬局事務コース)

担当教員 坂田富貴子 実務経験: 看護師

目的	身体を形態・構造の面から探究する解剖学と、機能の面から解明する生理学を学ぶ。これにより生体のメカニズムを知り、実際の臨床での患者の病態の具体例をもとに理解を深める。
----	--

実務経験の生かし方	解剖生理は疾病を理解する上で最も重要である。患者様の症状からくる身体各部の理解を深める。
-----------	--

授業概要	前期	後期
	① 細胞組織の発生	①
	② 神経組織、筋組織	②
	③ 上皮組織、腺組織	③
	④ ホルモンの生成と作用	④
	⑤ 血液、体液	⑤
	⑥ 頭蓋骨	⑥
	⑦ テスト	⑦
	⑧ 脳脊髄液、大脳皮質	⑧
	⑨ 脊髄の神経組織	⑨
	⑩ 脳神経	⑩
	⑪ 体温の調節	⑪
	⑫ 交感神経、副交感神経	⑫
	⑬ 定期試験対策	⑬
⑭ テスト	⑭	

評価方法	① 期末試験による100点満点評価(70%) ② 平常点30%(出欠・学習態度・小テストの得点など)
------	---

教科書 教材	教科書	教材	備考
	診療情報管理士 I ぜんぶわかる人体解剖図	目で見える身体のメカニズム 解剖トレーニング プリント 解剖生理学ノート	

その他	
-----	--

syllabus

教科名 **人体構造・機能論Ⅱ**

	前期	後期
コマ数		1

総時数
38

開講学科 医療事務学科1年
(医療秘書・クラーク・薬局事務コース)

担当教員 坂田富貴子 実務経験: 看護師

目的	身体を形態・構造の面から探究する解剖学と、機能の面から解明する生理学を学ぶ。これにより生体のメカニズムを知り、実際の臨床での患者の病態の具体例をもとに理解を深める。
----	--

実務経験の生かし方	解剖生理は疾病を理解する上で最も重要である。患者様の症状からくる身体各部の理解を深める。
-----------	--

授業概要	前期	後期
	①	① 細胞組織の発生
	②	② 神経組織、筋組織
	③	③ 上皮組織、腺組織
	④	④ ホルモン生成と作用
	⑤	⑤ 血液、体液
	⑥	⑥ 頭蓋骨
	⑦	⑦ テスト
	⑧	⑧ 脳脊髄液、大脳皮質
	⑨	⑨ 脊髄の神経組織
	⑩	⑩ 脳神経
	⑪	⑪ 体温の調節
	⑫	⑫ 交感
	⑬	⑬ 定期試験対策
⑭	⑭ テスト	

評価方法	① 期末試験による100点満点評価(70%) ② 平常点30%(出欠・学習態度・小テストの得点など)
------	---

教科書 教材	教科書	教材	備考
	診療情報管理士 I ぜんぶわかる人体解剖図	目で見える身体のメカニズム 解剖トレーニング プリント 解剖生理学ノート	

その他	
-----	--

syllabus

教科名 医療概論

	前期	後期
コマ数	1	

総時数
36

開講学科 医療事務学科1年
(医療秘書・クレーク・薬局事務コース)

担当教員 竹田 圭子

実務経験: 看護師

目的	基礎医学の枠組みを理解し、医学と医療の歴史を踏まえた上で、社会保険・地域保健・予防医学を含めた現代医療の概要について学ぶ。さらに実務経験上の事例のもとで、臨床の実際と知識をアジャストでき、即戦力となり得るスキルを身につける。
----	--

実務経験の生かし方	概論で学ぶ医療の歴史が、現在の医療現場でどのような形となって活かされているか、特に外科的処置や手術、画像診断などについて、実際の経験に基づき、現場の様子を具体的に説明する。また、個人情報や倫理の重視、感染予防などが臨床において具体的にどのように展開されているか、経験に基づき説明する。
-----------	--

授業概要	前期	後期
	① 医学と医療	①
② 世界の医学と医療の歴史 (古代～中世)	②	
③ 世界の医学と医療の歴史 (近世～現代)	③	
④ 日本の医学と医療の歴史	④	
⑤ 現代医療	⑤	
⑥ 医の倫理	⑥	
⑦ 脳死と臓器移植	⑦	
⑧ 個人情報	⑧	
⑨ 社会保障制度	⑨	
⑩ 医療制度	⑩	
⑪ 医療計画	⑪	
⑫ 地域保健	⑫	
⑬ 予防医学	⑬	

評価方法	①中間試験・期末試験による100点満点評価の平均点数 ②平常点(出欠状況・課題の取り組み状況など) ①90%、②10%、計100%での評価
------	---

教科書 教材	教科書	教材	備考
	診療情報管理 基礎・医学編 (日本病院会)		

その他	
-----	--

syllabus

教科名 医学総論

	前期	後期
コマ数		1

総時数	38
-----	----

開講学科 医療事務学科1年
(医療秘書・クラーク・薬局事務コース)

担当教員 坂田富貴子 実務経験: 看護師

目的	医学は人体の仕組みを理解し、病気の原因、病態、診断、治療、予後などについて研究する学問であることを理解する。また私自身が臨床で得た知識を講義することで学生に理解を深めてほしい。
----	--

実務経験の生かし方	総論はすべての疾病の序論的な学問であるため、健康とは何か、病気とは何か、を経験を通して伝授したい。
-----------	---

授業概要	前期	後期
	①	① 健康と疾病
	②	② 病気になる組織、臓器の変化
	③	③ 検査所見
	④	④ 治療の方針
	⑤	⑤ 神経系の先天奇形
	⑥	⑥ 呼吸器系の先天奇形
	⑦	⑦ 定期テスト
	⑧	⑧ 消化器系の先天奇形
	⑨	⑨ 生殖器の先天奇形
	⑩	⑩ 筋骨格系の先天奇形
	⑪	⑪ 染色体異常
	⑫	⑫ 定期テスト対策
	⑬	⑬ テスト
⑭	⑭	

評価方法	① 期末試験による100点満点評価(90%) ② 平常点10%(出欠・課題の取り組み状況)
------	--

教科書 教材	教科書	教材	備考
	診療情報管理士 I	人体構造と機能 病気の成り立ちと回復の促 身体の辞典	

その他	病院の検査の仕組み プリント
-----	----------------

syllabus

教科名 医療関連法規 I

	前期	後期
コマ数	1	1

総時数	74
-----	----

開講学科 医療事務学科1年
(医療秘書・クラーク・薬局事務コース)

担当教員 柴田 達也 実務経験：医療事務・診療情報管理

目的	実務における事例を参考に医療関係法律、告示、通知および療養担当規則の目的・内容および遵守の必要性の理解を目指す。
----	--

実務経験の生かし方	<ul style="list-style-type: none"> ・各法律と業務との関連事例 (診療報酬、保険制度等の事例解説) ・医療制度・医療機関管理などの事務事例 (行政機関への届出・管理業務等の事例解説)
-----------	--

授業概要	前期	後期
	① 医療関連法規の種類 ② 第1章 医療施設に関する法規 医療法① ③ 医療法② ④ 医療法③ ⑤ 医療法④ ⑥ 第2章 医療従事者に関する法規 1. 医師法① ⑦ 1. 医師法② 3. 保健師助産師看護師法 ⑧ 4. 薬剤師法 ⑨ 5. 診療放射線技師法 6. 臨床検査技師等に関する法 ⑩ 7. 理学療法士及び作業療法士法 9. 言語聴覚士法 ⑪ 8. 視能訓練士法 10. 栄養士法 ⑫ 11. その他の医療従事者に関する法規① ⑬ 11. その他の医療従事者に関する法規② ⑭	① 第3章 予防衛生に関する法規 2. 感染症法① ② 2. 感染症法② ③ 2. 感染症法③ ④ 1. 予防接種法 学校保健安全法、検疫法 ⑤ 第4章 保健衛生に関する法規 1. 地域保健法 ⑥ 2. 精神保健福祉法① ⑦ 2. 精神保健福祉法② ⑧ 6. がん対策法 7. 健康増進法 ⑨ 第5章 薬事関連法規 1. 医薬品医療機器等法① ⑩ 1. 医薬品医療機器等法② ⑪ 2. 麻薬及び向精神薬取締法 3. 血液製剤確保等に関する法律 ⑫ ⑬ ⑭

評価方法	中間試験・期末試験による100点満点の平均点数評価
------	---------------------------

教科書教材	教科書	教材	備考
	医療関連法規 知っておきたい公費 (医療事務講座)テキスト1	資料および問題を作成	

その他	7月・12月 診療報酬請求事務能力認定試験
-----	-----------------------

syllabus

教科名 医療関連法規Ⅱ

	前期	後期
コマ数	1	

総時数	28
-----	----

開講学科 医療事務学科2年
(医療秘書・クラーク・薬局事務コース)

担当教員 柴田 達也 実務経験：医療事務・診療情報管理

目 的	実務における事例を参考に医療関係法律、告示、通知および療養担当規則の目的・内容および遵守の必要性の理解を目指す。
-----	--

実務経験の生かし方	<ul style="list-style-type: none"> ・各法律と業務との関連事例 (診療報酬、保険制度等の事例解説) ・医療制度・医療機関管理などの事務事例 (行政機関への届出・管理業務等の事例解説)
-----------	--

授業概要	前期		後期
	① 第4章 保健衛生に関する法規 3. 母体保護法		① _____
	② 4. 母子保健法		② _____
	③ 第7章 医療保険に関する法規 1. 健康保険法①		③ _____
	④ 1. 健康保険法②		④ _____
	⑤ 4. 国民健康保険法		⑤ _____
	⑥ 5. 高齢者医療確保法		⑥ _____
	⑦ 第8章 社会福祉関連法規 3. 児童福祉法		⑦ _____
	⑧ 6. 障害者総合支援法		⑧ _____
	⑨ 第10章 療養担当規則		⑨ _____
	⑩ _____		⑩ _____
	⑪ _____		⑪ _____
	⑫ _____		⑫ _____
	⑬ _____		⑬ _____
⑭ _____		⑭ _____	

評価方法	期末試験による100点満点の点数評価
------	--------------------

	教科書	教材	備考
	医療関連法規 知っておきたい公費 医療事務講座)テキスト1	資料および問題を作成	

その他	7月・12月 診療報酬請求事務能力認定試験
-----	-----------------------

syllabus

教科名 基礎医学

	前期	後期
コマ数	2	1

総時数
94

開講学科 医療事務学科2年
(医療秘書・クラーク・薬局事務コース)

担当教員 竹田 圭子

実務経験: 看護師

目的	既習の人体の解剖・生理の一般的な知識を踏まえ、実務経験上の事例のもとで、様々な疾患のメカニズムや症状、治療などへの理解を深めるとともに、医療秘書資格を取得し、カルテを読み取るための医学的知識を身につける。
----	--

実務経験の生かし方	医療秘書検定試験に出題頻度の高い疾患の他に、臨床の場で出会うことの多い患者さんの病態、一般的な治療や検査について、実際のケースを授業内容に数多く取り入れる。
-----------	--

授業概要	前期	後期
	<ul style="list-style-type: none"> ① 虚血性心疾患 ② 医療秘書検定対策(1) ③ 消化器疾患(潰瘍・肝炎・肝硬変) ④ 医療秘書検定対策(2) ⑤ 生活習慣病(動脈硬化・脂質異常) ⑥ 医療秘書検定対策(3) ⑦ 生活習慣病(高血圧・糖尿病) ⑧ 医療秘書検定対策(5) ⑨ 脳神経系疾患 ⑩ 医療秘書検定対策(6) ⑪ 高齢者(身体的特徴) ⑫ 高齢者(老年期症候群) ⑬ 認知症(種類・病態) ⑭ 認知症(症状・対応) ⑮ 消化器疾患(逆流性食道炎・胃癌・大腸癌) ⑯ 呼吸器疾患(肺癌) ⑰ 呼吸器疾患(喘息・肺炎・COPD) ⑱ 前期の復習 	<ul style="list-style-type: none"> ① 骨・筋肉系の損傷と疾患 ② 腎・泌尿器系疾患 ③ 自己免疫疾患 ④ 内分泌疾患 ⑤ 眼科疾患 ⑥ 耳鼻科疾患 ⑦ 血液疾患 ⑧ 婦人科系疾患 ⑨ 感染症 ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭

評価方法	①期末試験による100点満点評価 ②平常点(出欠・学習態度・小テストの得点など) ①70%②30%計100%での評価
------	--

教科書教材	教科書	教材	備考
		しくみと病気がわかるからだの事典(成美堂出版) 医療秘書技能検定実問題集 (医療秘書教育全国協議会試験委員)	

その他	6月 医療秘書技能検定
-----	-------------

syllabus

教科名 調剤事務

	前期	後期	総時数
コマ数	2	2	132

開講学科 医療事務学科2年
(医療秘書・クラーク・薬局事務コース)

担当教員 武川 真理子 実務経験: 医局秘書

目的	薬剤の基礎知識と処方せんによる調剤報酬算定方法の習得 レセプト作成の為の基礎知識の習得 調剤事務管理士の資格取得を目的とする
----	--

実務経験の生かし方	
-----------	--

	前期	後期
授業概要	① 薬剤の基礎知識	① 調剤事務管理士検定試験対策
	② 処方欄の見方	② 模擬問題Ⅰ
	③ 調剤報酬の算定方法	③ 模擬問題Ⅱ
	④ ・調剤基本料	④ 模擬問題Ⅲ
	⑤ ・調剤料	⑤ 模擬問題Ⅳ
	⑥ ・薬学管理料	⑥ 模擬問題Ⅴ
	⑦ レセプト作成練習	⑦ 過去問題Ⅰ
	⑧ ”	⑧ 過去問題Ⅱ
	⑨ ”	⑨ 過去問題Ⅲ
	⑩ ”	⑩ 過去問題Ⅳ
	⑪ ”	⑪ 過去問題Ⅴ
	⑫ ”	⑫ 過去問題Ⅵ
	⑬ ”	⑬ 過去問題Ⅶ

評価方法	100点満点の定期試験による評価
------	------------------

	教科書	教材	
教科書 教材	調剤報酬の算定とレセプト トレーニングブック 調剤試験問題集	ソラスト	

その他	1月 調剤事務管理士技能認定試験受験
-----	--------------------

syllabus

教科名 診療報酬請求事務 I

	前期	後期	総時数
コマ数	4	5	334

開講学科 医療事務学科1年
(医療秘書・クラーク・薬局事務コース)

担当教員 川淵 彩子 実務経験: 医療事務

目 的	医療事務の基礎を学び知識を身に付け、医療事務管理士検定取得に向けての学習を行う。 医療人としての患者接遇、マナーの習得を目的とする。
-----	---

実務経験の生かし方	受付業務や算定業務等の実体験を説明の中に踏まえながら、実例を交えて指導していく。 座学が中心になる中で、教科書の問題に実務で得た知識をわかりやすく加えながら説明していく。
-----------	--

授業概要	前期	後期
	① 医療機関の概要・医療保険のしくみ	① 手術料
	② 保険給付について	② 麻酔料
	③ レセプトの基礎知識	③ 画像診断
	④ 初診料	④ 精神科専門療法
	⑤ 再診料	⑤ 放射線料
	⑥ 医学管理等	⑥ 入院料
	⑦ 在宅医療	⑦ 患者接遇
	⑧ 投薬料	⑧ 公費負担医療
	⑨ 注射料	⑨ 入院レセプト作成
	⑩ 処置料	⑩ レセプト点検業務
	⑪ リハビリテーション	⑪ 学科試験対策
	⑫ 検体検査	⑫ ”
	⑬ 生体検査	⑬ 実技試験対策
	⑭ 病理診断	⑭ ”
⑮ 外来レセプト作成	⑮ 医療事務管理士検定試験対策	

評価方法	中間試験・期末試験による100点満点の平均点数 課題提出40% 定期試験50% 出欠席10%、計100%での評価
------	---

教科書 教材	教科書	教材	備考
	医療事務講座(医科)テキスト1~5、薬価表(ソラスト)	診療点数早見表(医学通信社) ハンドブック(ニチイ学館) 各種検定対策問題集	

その他	1月 医療事務管理士認定試験
-----	----------------

syllabus

教科名 **診療報酬請求事務Ⅱ**

	前期	後期
コマ数	2	2

総時数
132

開講学科 医療事務学科2年
(医療秘書・クラーク・薬局事務コース)

担当教員 川渕 彩子 実務経験: 医療事務

目的	授業のねらい 診療報酬請求事務の知識と技術の習得 各種医療事務検定取得に向けての学習 医療人としての基礎知識、患者接遇、マナーの習得
----	---

実務経験の生かし方	・受付から会計までの患者接遇 (実際にあったクレーム等、現場で困った患者接遇など) ・診療報酬の算定方法、公費から労災など検定にはあまり出題されない症例を実務経験をもとに各区分ごとに詳しく説明したい。
-----------	--

授業概要	前期	後期
	① 診療報酬改定の説明	① メディカルクラーク検定2級対策
	② 患者接遇ロールプレイ	② (患者接遇・レセプト点検等)
	③ 医療秘書検定2級対策	③ 過去問 I
	④ 医療秘書模擬試験	④ 過去問 II
	⑤ 医療秘書過去問題(学科・実技)55回	⑤ 過去問 III
	⑥ 医療秘書過去問題(学科・実技)56回	⑥ 診療報酬能力認定試験対策 46回
	⑦ 医療秘書過去問題(学科・実技)57回	⑦ 診療報酬能力認定試験対策 47回
	⑧ 医療秘書過去問題(学科・実技)58回	⑧ 診療報酬能力認定試験対策 48回
	⑨ 医療秘書過去問題(学科・実技)59回	⑨ 診療報酬能力認定試験対策 49回
	⑩ 医療秘書過去問題(学科・実技)60回	⑩ 診療報酬能力認定試験対策 50回
⑪ 医療秘書過去問題(学科・実技)61回	⑪ 診療報酬能力認定試験対策 51回	

評価方法	平常点・中間試験・期末試験による100点満点評価
------	--------------------------

教科書教材	教科書	教材	備考
		診療点数早見表 受験対策と予想問題集 医療秘書検定問題集2級 医療事務技能認定試験 模擬問題集	

その他	6月・12月 診療報酬請求事務能力認定試験 10月 医療事務技能認定試験 11月 医療秘書検定2級
-----	---

syllabus

教科名 **医事コンピュータ**

	前期	後期	総時数 91
コマ数	2	0.5	

開講学科 医療事務学科1年
 (医療秘書・クラーク・薬局事務コース)

担当教員 武川 真理子 実務経験: 医局秘書

目的	診療報酬請求事務の知識の取得と、医事コンピュータ入力技術の習得。実務経験を踏まえ、医事コンピュータ技能検定試験合格に向けての知識と技術を教える
----	---

実務経験の生かし方	医療機関でのクレームで「待ち時間が長い」というものが一番多いため、会計時のクレームを減らすための入力方法等を習得する。また入力のミスが査定につながるため、就職した際に即戦力となれるよう多種多様なカルテを扱えるようにする。
-----------	--

授業概要	前期	後期
	① 医事コンピュータの基礎知識	① 医事コンピュータ技能検定試験対策(2級)
	② 基本診療料(初診・再診)	② 伝票問題 I
	③ 投薬料(外来)	③ 伝票問題 II
	④ 注射料(外来)	④ 過去問題
	⑤ 医学管理料	⑤ 過去問題
	⑥ 処置(外来)	⑥ 過去問題
	⑦ 手術(創傷処理)	⑦ 過去問題
	⑧ 検査(外来)	⑧ 過去問題
	⑨ 画像診断(外来)	⑨
	⑩ 伝票からの入力(外来)	⑩
	⑪ 入院料	⑪
	⑫ 医事コンピュータ技能検定試験対策(3級)	⑫
	⑬ 伝票からの入力(入院)	⑬
	⑭ 過去問題	⑭
⑮ 過去問題	⑮	

評価方法	中間試験・期末試験、及び医事コンピュータ検定の点数による100点満点評価
------	--------------------------------------

教科書教材	教科書	教材	備考
		カルテ例題集 (ケアアンドコミュニケーション株式会社) 診療点数早見表 (医学通信社)	

その他	6月 医事コンピュータ検定試験 3級受験 11月 医事コンピュータ検定試験 2級受験
-----	---

syllabus

教科名	ドクターズクラーク(電子カルテ)	前期	後期	総時数
		コマ数	2	

開講学科	医療事務学科2年 (医療秘書・クラーク・薬局事務コース)
------	---------------------------------

担当教員	川淵 彩子	実務経験:	医療事務
------	-------	-------	------

目的	医師事務作業補助として業務を遂行するにあたり求められるスキルと、診療録・電子カルテ・個人情報・医療安全などについて学び、医師から信頼される医師事務作業補助者としての知識修得を目標とする。
----	---

実務経験の生かし方	診断書の作成では、経験した記入上の注意点や、苦労した点を交え指導し、学生の作成能力の向上、カルテを読み取る力を身に付ける。 カルテ入力では現場での実例を上げ、ドクターとのやり取りなど詳しく説明する。
-----------	--

授業概要	前期	後期
	① 医師事務作業補助の誕生背景	① 問答形式問題①
② 診療報酬での評価による対策	② 問答形式問題②	
③ 業務範囲・業務内容の理解	③ 問答形式問題③	
④ 個人情報保護	④ 問答形式問題④	
⑤ OECD8原則	⑤ 問答形式問題⑤	
⑥ 電子カルテシステム	⑥ 問答形式問題⑥	
⑦ 医療機関の安全管理	⑦ 電子カルテ検定試験対策	
⑧ 代行入力の業務範囲について	⑧ 診断書の作成	
⑨ 院内感染予防	⑨ 医学知識の総復習	
⑩ 病院交付診断書	⑩ 問答形式問題⑦	
⑪ 傷病保険診断書	⑪ 問答形式問題⑧	
⑫ 診療録記載・退院サマリー	⑫ 問答形式問題⑨	
⑬ その他、文書作成	⑬ サマリー作成	
⑭ 検定試験対策	⑭ 検定試験対策	

評価方法	期末試験と平常点による100点満点評価 期末試験50%、平常点(出欠席・提出物)50%
------	--

教科書教材	教科書	教材	備考
	医師事務作業補助者養成講座テキスト4点セット(ノラスト) 電子カルテシステムの理解と演習(C&C)	USB	

その他	9月、11月、1月 医師事務作業補助者検定試験 11月 電子カルテ検定試験
-----	--

syllabus

教科名 ワープロ (Word)

	前期	後期
コマ数	1	

総時数	36
-----	----

開講学科 医療事務学科1年
(医療秘書・クラーク・薬局事務コース)

担当教員 渡辺 亜弥 実務経験: 医師事務作業補助

目 的	検定試験に向けて、実技の練習等で実践的な技術の向上を図る。また、図形などを活用した応用技能を身に着け文書作成に役立てる。
-----	--

実務経験の生かし方	
-----------	--

授業概要	前期	後期
	① 基本操作についての説明 検定についての説明→速度練習	①
	② 速度練習 3級文書問題 説明→練習	②
	③ 速度練習 3級文書問題 説明→練習	③
	④ 速度練習 準2級文書問題 説明→練習	④
	⑤ 速度練習 2級文書問題 説明→練習	⑤
	⑥ 速度練習 準2級・2級文書問題 練習	⑥
	⑦ 中間試験(2級)	⑦
	⑧ 速度練習 準1級文書問題 説明→練習	⑧
	⑨ 速度練習 準1級文書問題 説明→練習	⑨
	⑩ 速度練習 1級文書問題 説明→練習	⑩
	⑪ 速度練習 1級文書問題 説明→練習	⑪
	⑫ 速度練習 準1級・1級文書問題 説明→練習	⑫
	⑬ 速度練習 準1級・1級文書問題 説明→練習	⑬
⑭ 期末試験	⑭	

評価方法	中間試験・期末試験・検定試験による100点満点の平均点数(平常点も含む)
------	--------------------------------------

教科書 教材	教科書	教材	備考
		検定試験過去問題 模擬問題集 授業用プリント	

その他	日本情報処理検定
-----	----------

syllabus

教科名 表計算(Excel)

	前期	後期
コマ数		1

総時数
38

開講学科 医療事務学科1年
(医療秘書・クラーク・薬局事務コース)

担当教員 武川 真理子 実務経験: 秘書

目 的	アプリケーションソフト・エクセルの機能と操作方法を理解させる。関数を使った計算やデータを利用した集計などの技術の取得と、上位級の資格取得のため対策を行う。
-----	---

実務経験の生かし方	日本情報処理検定協会主催の表計算検定の取得と同時に、その応用として、現場で使用する関数グラフ等を使い、分かりやすい表作成(統計等も含む)を指導する。
-----------	--

	前期	後期
授業概要	① _____	① 四則計算 関数①SUM・AVERAGE
	② _____	② 関数②COUNT・COUNTA 相対参照と絶対参照
	③ _____	関数③MAX・MIN ③ 関数④ROUND・ROUNDUP・ ROUNDDOWN
	④ _____	④ 関数⑤IF 3級問題
	⑤ _____	⑤ グラフ作成
	⑥ _____	⑥ 関数⑥IF(複数条件) 関数⑦VLOOKUP
	⑦ _____	⑦ 準2級・2級問題
	⑧ _____	⑧ データベース関数
	⑨ _____	⑨ 準1級・1級問題
	⑩ _____	⑩ 各検定対策
	⑪ _____	⑪ _____
	⑫ _____	⑫ _____
	⑬ _____	⑬ _____
	⑭ _____	⑭ _____

評価方法	
------	--

	教科書	教材	備考
教科書 教材			

その他	
-----	--

syllabus

教科名 プレゼンテーション(PowerPoint)

	前期	後期
コマ数	1	1

総時数	66
-----	----

開講学科 医療事務学科2年
(医療秘書・クラーク・薬局事務コース)

担当教員 余湖 祥博 実務経験: 一般教員

目的	プレゼンテーションツールを使用し、その操作方法の理解と活用の基本を学び自分の考えをスライドにまとめる知識を習得する。また、その知識を応用し病院実習の考察をスライドにまとめ、発表できるようにするとともに、自己の音声・動画データの活用法やネット情報とのリンク活用について学ぶ。さらに資格試験にも挑戦する。
----	--

実務経験の生かし方	
-----------	--

授業概要	前期	後期
	① 基本操作と学習データダウンロード インターフェース・起動、保存、終了	① アプリケーションソフト(PowerPoint)の基本操作の確認・発表スタイルの検討
② 基本的なプレゼンテーションの作成	② 発表用プレゼンテーションの流れと確認 プレゼンスタイルの決定	
③ スライドの修正法 表・グラフの基本について	③ インタネットとデータ収集について 実習内容のデータ入力①	
④ 表の作成・グラフ作成と編集について	④ 画像編集と外部データ活用 実習内容のデータ入力②	
⑤ 図形の活用(挿入編集) SmartArtグラフィックの活用	⑤ 画像編集と外部データ活用 実習内容のデータ入力③	
⑥ 画像の挿入と編集 ワードアートの活用	⑥ 外部情報とのリンクについて 実習内容のデータ入力④	
⑦ 特殊効果の設定について アニメーション設定・画面切り替え設定	⑦ スライドショー編集(アニメーション・画面切り替え)実習内容のデータ入力⑤	
⑧ アニメーションの活用について総合復習からパワーポイント3級用問題Ⅰ	⑧ スライドショー編集 完成	
⑨ 音声入力について 総合復習からパワーポイント3級用問題Ⅱ	⑨ 仮発表会実施	
⑩ プレゼンテーションとスライドの効率的活用 総合復習からパワーポイント3級用問題Ⅲ	⑩ 仮発表後のデータ・時間等の修正	
⑪ 発表者ビューの活用 目的別スライドの編集	⑪ 実習報告の発表会実施	
⑫ プレゼンテーションの流れと基本を確認 まとめ	⑫ 音声入力完了データのCD書き込み ジャケット作成	

評価方法	前期 実技試験により100点満点 後期 課題提出にて評価
------	---------------------------------

教科書 教材	教科書	教材	備考
	よくわかるPowerPoint2016 基礎(FOM出版)	プリントによる練習問題	

その他	PowerPoint2016検定試験3級
-----	----------------------

syllabus

教科名 PC基礎知識

	前期	後期
コマ数	1	1

総時数	74
-----	----

開講学科 医療事務学科1年
(医療秘書・クラーク・薬局事務コース)

担当教員 伊東 登 実務経験:統計計算プログラミング

目 的	病院で使われている電子カルテシステムや医療情報システムを理解する上で必要なコンピュータの基礎知識を説明する。医事コンピュータ検定や医療情報基礎知識検定の試験対策も行う。
-----	--

実務経験の生かし方	コンピュータのしくみや取扱は難しいとい先入観があるが、実際に取り扱ってみると思ったより簡単なものだとということ、色々な教材を用いて説明する。
-----------	--

	前期	後期
授業概要	① 概説	① ネットワーク技術(3)
	② コンピュータの基礎(1)	② 情報セキュリティ(2)
	③ コンピュータの基礎(2)	③ データベース技術(1)
	④ コンピュータの基礎(3)	④ データベース技術(2)
	⑤ 病院情報システム(1)	⑤ 情報システム開発・管理(1)
	⑥ まとめ	⑥ 情報システム開発・管理(2)
	⑦ 演習	⑦ 地域の医療情報システム
	⑧ ネットワーク技術(1)	⑧ システムの標準化(1)
	⑨ ネットワーク技術(2)	⑨ システムの標準化(2)
	⑩ 情報セキュリティ(1)	⑩ 医療に対するコンピュータの重要性(1)
	⑪ 病院情報システム(2)	⑪ 医療に対するコンピュータの重要性(2)
	⑫ 病院情報システム(3)	⑫ 医療に対するコンピュータの重要性(3)
	⑬ 医療情報の特性	⑬ 医療に対するコンピュータの重要性(4)
	⑭ 演習	⑭ 演習

評価方法	課題提出50%、定期試験50%、計100%での評価
------	---------------------------

	教科書	教材	備考
教科書 教材	医療情報の基礎知識(南江堂) 医事コンピュータ技能検定問題 (つちや書店)	プリント、ビデオ	

その他	
-----	--

syllabus

教科名 データベース (Access)

	前期	後期	総時数
コマ数		1	38

開講学科 医療事務学科1年
(医療秘書・クラーク・薬局事務コース)

担当教員 渡辺 亜弥 実務経験: 医師事務作業補助

目的	検定試験に向けての説明。実技の練習。 実務経験上の実例のもとで、実践的な技術の向上を図る。
----	--

実務経験の生かし方	
-----------	--

	前期	後期
授業概要	① _____	① 検定についての説明、データベースとは
	② _____	② データベースの設計と作成
	③ _____	③ テーブルによるデータの格納
	④ _____	④ リレーションシップの作成
	⑤ _____	⑤ クエリのデータ加工
	⑥ _____	⑥ フォームによるデータ入力
	⑦ _____	⑦ データ抽出と集計
	⑧ _____	⑧ レポート作成
	⑨ _____	⑨ 3級検定対策
	⑩ _____	⑩ 2級検定対策
	⑪ _____	⑪ _____
	⑫ _____	⑫ _____
	⑬ _____	⑬ _____
	⑭ _____	⑭ _____

評価方法	中間試験・期末試験・検定試験による100点満点の平均点数 (平常点も含む)
------	--

	教科書	教材	備考
教科書 教材		検定試験過去問題 模擬問題集 授業用プリント	

その他	日本情報処理検定
-----	----------

syllabus

教科名 PCエキスパート

	前期	後期
コマ数	1	1

総時数	66
-----	----

開講学科 医療事務学科2年
(医療秘書・クラーク・薬局事務コース)

担当教員 渡辺 亜弥 実務経験: 医師事務作業補助

目的	ワード・表計算・データベース上級の資格取得を目的とする。 実務経験上の事例のもとで、実践的な技術の向上を図る。
----	--

実務経験の生かし方	
-----------	--

	前期	後期
授業概要	① 検定試験についての説明(W、Ex)	① 検定試験についての説明(DB) 速度(1~2級)練習、DB(1級)説明
	② ワード:速度(2級) エクセル:説明・練習(2級)	② データベース問題説明 練習問題
	③ ワード:速度(2級) エクセル:説明・練習(2級)	③ "
	④ ワード、エクセル各自問題取組み	④ "
	⑤ ワード、エクセル各自問題取組み	⑤ "
	⑥ ワード:速度(1級) エクセル:説明・練習(1級)	⑥ "
	⑦ ワード:速度(1級) エクセル:説明・練習(1級)	⑦ "
	⑧ ワード、エクセル各自問題取組み	⑧ "
	⑨ ワード、エクセル各自問題取組み	⑨ "
	⑩ 中間試験	⑩ "
	⑪	⑪ "
	⑫	⑫ 期末試験
	⑬	⑬
	⑭	⑭

評価方法	期末試験・検定試験の結果による100点満点の平均点数 (平常点も含む)
------	--

	教科書	教材	備考
教科書 教材		検定試験過去問題 模擬問題集	

その他	日本情報処理検定
-----	----------

syllabus

教科名 実習・就職支援

	前期	後期
コマ数	1	1

総時数
66

開講学科 医療事務学科2年
(医療秘書・クラーク・薬局事務コース)

担当教員 武川 真理子 実務経験: 一般教員

目的	病院実習に向けて、履歴書の作成や実習ノートの準備、また事前訪問など、スムーズに実習に臨み、終了できるよう心構えも含め指導する。 また希望する医療機関に合格できるよう、志望動機や面接練習等を練習する。
----	--

実務経験の生かし方	
-----------	--

授業概要	前期	後期
	① 履歴書の作成	① 就職活動
② 実習記録ノートの準備	② 履歴書作成	
③ 実習先の事前学習	③ 面接練習	
④ 実習先の事前訪問	④ 内定のお礼状作成	
⑤ 実習終了後のお礼状の作成	⑤	
⑥ 実習記録のまとめ	⑥	
⑦	⑦	
⑧	⑧	
⑨	⑨	
⑩	⑩	
⑪	⑪	
⑫	⑫	
⑬	⑬	
⑭	⑭	

評価方法	履修のみとする
------	---------

教科書 教材	教科書	教材	備考
	勝つための就職ガイド SUCCESS		

その他	5月末ごろから各医療機関に3・4週間で実習する
-----	-------------------------

syllabus

教科名 病院実習

	前期	後期	総時数
コマ数	(20)		160

開講学科 医療事務学科2年
(医療秘書・クラーク・薬局事務コース)

担当教員 武川 真理子 実務経験: 一般教員

目 的	実際の医療現場で、医療事務や医療秘書、病歴室など様々な職種を経験し、今後の勉強や就職活動の参考にする。また、患者様と接することで、言葉遣いや表情など座学では学ぶことが出来ないことを多く吸収する。
-----	---

実務経験の生かし方	
-----------	--

授業概要	前期	後期
	① 病院実習	① _____
② (外来受付)	② _____	
③ (医療秘書)	③ _____	
④ (診療情報管理室)	④ _____	
⑤ _____	⑤ _____	
⑥ _____	⑥ _____	
⑦ _____	⑦ _____	
⑧ _____	⑧ _____	
⑨ _____	⑨ _____	
⑩ _____	⑩ _____	
⑪ _____	⑪ _____	
⑫ _____	⑫ _____	
⑬ _____	⑬ _____	
⑭ _____	⑭ _____	

評価方法	各医療機関の担当者による評価表の点数と、実習中に学生が毎日記載するノートによる100点満点評価
------	---

教科書 教材	教科書	教材	備考

その他	
-----	--

syllabus

教科名 卒業研究

	前期	後期	総時数
コマ数		1	38

開講学科 医療事務学科2年
(医療秘書・クラーク・薬局事務コース)

担当教員 武川 真理子 実務経験: 一般教員

目 的	病院実習で学んだ事などを基に研究内容を決め、2年間の集大成としてプレゼンテーション発表に向けてパワーポイントの作成・発表を行う。 社会でも色々な場面でプレゼンを行うこともあり、また診療情報管理士学会でも積極的に参加し人前で発表出来るようにする。
-----	---

実務経験の生かし方	
-----------	--

	前期	後期
授業概要	① _____	① 卒業研究発表に向けてデータ作成
	② _____	② 発表の練習
	③ _____	③ CDに画像と音声を入れる。
	④ _____	④ _____
	⑤ _____	⑤ _____
	⑥ _____	⑥ _____
	⑦ _____	⑦ _____
	⑧ _____	⑧ _____
	⑨ _____	⑨ _____
	⑩ _____	⑩ _____
	⑪ _____	⑪ _____
	⑫ _____	⑫ _____
	⑬ _____	⑬ _____
	⑭ _____	⑭ _____

評価方法	発表会にて、各教員の点数の平均値をとる。 服装、挨拶、言葉遣い、声の大きさ、パワーポイントの技術等で評価する。
------	--

	教科書	教材	備考
教科書 教材			

その他	12月に選考会 1月に学内の発表会で優秀賞を選ぶ
-----	-----------------------------

syllabus

教科名 コミュニケーション技法 I

	前期	後期
コマ数	1	

総時数
36

開講学科 医療事務学科1年
(医療秘書・クラーク・薬局事務コース)

担当教員 松前 葉子 実務経験: コミュニケーショントレーナー

目 的	自己理解、他者理解を通し、社会人として必要なコミュニケーションにおける相互理解、コミュニケーションタイプ、観察力などコミュニケーション能力の向上を図る
-----	---

実務経験の生かし方	<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニケーションを通して、職場内でのスムーズな信頼関係の構築スキル ・患者へのより良いコミュニケーション ・折れやすい心からしなやかな心の作り方と捉え方
-----------	--

授業概要	前期 コミュニケーションとは	後期
	①	①
	②	②
	③	③
	④	④
	⑤	⑤
	⑥	⑥
	⑦	⑦
	⑧	⑧
	⑨	⑨
	⑩	⑩
	⑪	⑪
	⑫	⑫
	⑬	⑬
⑭	⑭	

評価方法	中間試験・期末試験による100点満点の平均点数 課題提出40% 定期試験50% 出欠席10% 計100%での評価
------	---

教科書 教材	教科書	教材	備考
	プリント配布	プリント	

その他	
-----	--

syllabus

教科名 コミュニケーション技法Ⅱ

	前期	後期	総時数
コマ数		1	38

開講学科 医療事務学科2年
(医療秘書・クラーク・薬局事務コース)

担当教員 松前 葉子 実務経験: コミュニケーショントレーナー

目的	コミュニケーションスキルを巧みに使い、社会人として必要なコミュニケーション能力の向上を目指す
----	--

実務経験の生かし方	<ul style="list-style-type: none"> ・社会人として必要とされるコミュニケーションスキルを学び、スムーズな業務遂行に運べるようにする ・コミュニケーションを通して人間関係におけるストレスの緩和を図る
-----------	---

	前期	後期
授業概要	① _____	① コミュニケーションにおける自己分析
	② _____	② コミュニケーションにおける他己分析
	③ _____	③ コミュニケーションスタイルについて
	④ _____	④ 価値観・受容と共感について
	⑤ _____	⑤ 傾聴姿勢
	⑥ _____	⑥ 伝えることと質問力
	⑦ _____	⑦ 交渉力
	⑧ _____	⑧ ファシリテーション
	⑨ _____	⑨ コーチング
	⑩ _____	⑩ レジリエンス
	⑪ _____	⑪ _____
	⑫ _____	⑫ _____
	⑬ _____	⑬ _____
	⑭ _____	⑭ _____

評価方法	中間試験・期末試験による100点満点の平均点数 課題提出40% 定期試験50% 出欠席10% 計100%での評価
------	---

	教科書	教材	備考
教科書 教材	プリント配布	プリント	

その他	
-----	--